

授業科目 心理学 I

【担当教員名】 松本 京介		対象学年	1	対象学科	社会
		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【カリキュラムポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○	○	◎	○	
【一般目標：GIO】 人間とは何か、心とはどのようなものかといった問題を理解するために必要な心理学の基礎知識を身につける。					
【行動目標：SBO】 1. 心理学の歴史と研究方法について説明できる 2. 心理学の各論について要点を説明できる 3. 心理学の各論について複数の学問的視座を対比することができる 4. 心理療法に関する複数の学問的視座を対比することができる 5. 心理検査の効用と限界、実施にあたっての留意点を説明できる					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	心理学の歴史と研究方法 1 ヴント、ワトソン	1～3	講義（参考書『心理学とは』参照）		
2	心理学の歴史と研究方法 2 フロイト、ゲシュタルト心理学派	1～3	講義（参考書『心理学とは』参照）		
3	感覚・知覚	2,3	講義・実習（参考書「感覚」「知覚」参照）		
4	認知	2,3	講義（参考書「認知」参照）		
5	欲求・動機づけ・感情	2,3	講義（参考書『欲求と動機づけ』『感情』参照）		
6	防衛（適応）機制	2,3	講義（参考書『適応とストレス』『葛藤と欲求不満』参照）		
7	心理的支援の方法 1 精神分析学のアプローチ	2,4	講義（参考書『脳と心』『面接・見立て・心理療法』参照）		
8	心理的支援の方法 2 分析心理学、カウンセリングのアプローチ	2,4	講義（参考書『面接・見立て・心理療法』『対人交流とコミュニケーション』参照）		
9	学習	2,3	講義・ビデオ（参考書「学習」参照）		
10	心理療法の実際 1 精神分析的な心理療法	2,4	講義（参考書「心理療法」参照）		
11	心理療法の実際 2 行動療法・来談者中心療法	2,4	講義（参考書「心理療法」参照）		
12	知能・性格・心理検査	2,5	講義・実習・ビデオ（参考書『性格』『発達概念』『知能』参照）		
13	記憶・思考	2,3	講義・実習（参考書「記憶」「思考」参照）		
14	個人と集団	2,3	講義（参考書『人間環境と集団』参照）		
15	まとめ	1～5	講義		
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		イラストレート心理学入門 第2版	齊藤勇	誠信書房	2010・1,500円＋税
参考書		心理学理論と心理的支援 最新版	社会福祉士養成講座編集委員会	中央法規	2,200円＋税
その他の資料		適宜プリントを配布する。			
【評価方法】 出席状況、授業態度、小レポート、 期末試験の総合評価		【履修上の留意点】 多岐に渡る心理学の分野を紹介するため、週によって内容が変化する。十分に予習・ 復習をすること。また、心理学に関する総合的な理解を得るためにも、欠席がない ようにしてもらいたい。			